

別表1 社会調査士資格の標準カリキュラム

【A 科目:社会調査の基本的事項に関する科目】

社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を解説する科目。社会調査史、社会調査の目的、調査方法論、調査倫理、調査の種類と実例、量的調査と質的調査、統計的調査と事例研究法、国勢調査と官庁統計、学術調査、世論調査、マーケティング・リサーチなどのほか、調査票調査やフィールドワークなど、資料やデータの収集から分析までの諸過程に関する基礎的な事項を含む。(90分×15週)

【B 科目:調査設計と実施方法に関する科目】

社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を解説する科目。調査目的と調査方法、調査方法の決め方、調査企画と設計、仮説構成、全数調査と標本調査、無作為抽出、標本数と誤差、サンプリングの諸方法、質問文・調査票の作り方、調査の実施方法(調査票の配布・回収法、インタビューの仕方など)、調査データの整理(エディティング、コーディング、データクリーニング、フィールドノート作成、コードブック作成)など。(90分×15週)

【C 科目:基本的な資料とデータの分析に関する科目】

官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワーク論文が読めるための基本的知識に関する授業。単純集計、度数分布、代表値、クロス集計などの記述統計データの読み方や、グラフの読み方、また、それらの計算や作成のしかた。さまざまな質的データの読み方と基本的なまとめ方。相関係数など基礎的統計概念、因果関係と相関関係の区別、擬似相関の概念などを含む。(90分×15週)

【D 科目:社会調査に必要な統計学に関する科目】

統計的データをまとめたり分析したりするために必要な、基礎的な統計学的知識を教える科目。確率論の基礎、基本統計量、検定・推定理論とその応用(平均や比率の差の検定、独立性の検定)、抽出法の理論、属性相関係数(クロス表の統計量)、相関係数、偏相関係数、変数のコントロール、回帰分析の基礎など。(90分×15週)

【E 科目:量的データ解析の方法に関する科目】

社会学的データ分析で用いる基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方と主要な計量モデルを解説する。重回帰分析を基本としながら、他の計量モデル(たとえば、分散

分析、パス解析、ログリニア分析、因子分析、数量化理論など)の中から若干のものをとりあげる。(90分×15週)

【F 科目:質的な分析の方法に関する科目】

さまざまな質的データの収集や分析方法について解説する科目。聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、フィールドワーク、インタビュー、ライフヒストリー分析、会話分析の他、新聞記事などのテキストに関する質的データの分析法(内容分析等)など。(90分×15週)

【G 科目:社会調査の実習を中心とする科目】

調査の企画から報告書の作成までにまたがる社会調査の全過程をひとつおりの実習を通じて体験的に学習する授業で、量的調査でも質的調査でもよい。演習で行っている実習も含む。調査の企画、仮説構成、調査項目の設定、質問文・調査票の作成、対象者・地域の選定、サンプリング、調査の実施(調査票の配布・回収、面接)、インタビューなどのフィールドワーク、フィールドノート作成、エディティング、集計、分析、仮説検証、報告書の作成。また、実際にアプリケーション・ソフトを利用した量的データの統計的分析の実習、もしくは、質的データの分析ないし事例研究を行う実習を含む。(90分×30週)

別表2 専門社会調査士資格の標準カリキュラム

【H科目:調査企画・設計に関する演習(実習)科目】

社会調査を実践的に企画・設計し、実施し、分析・集計をおこなうための実践的な知識と能力を習得する科目。調査方法論、調査倫理を踏まえ、調査方法の決定、調査企画と設計、仮説構成、調査票の作成、サンプリングないし対象者・フィールドの選定、実査、調査データの整理(エディティング、コーディング、データクリーニング、フィールドノート作成、コードブック作成)、比較的簡単な量的分析とグラフ作成、質的な分析、以上に基づく報告ペーパーの作成などに関する実践的な授業科目。(90分×15週)

【I科目:多変量解析に関する演習(実習)科目】

数理統計学の基礎を踏まえながら、多変量解析(重回帰分析、パス解析、分散分析、共分散分析、ログリニア分析、ロジット分析、主成分分析、因子分析、多次元尺度法、クラスター分析、数量化理論、生存時間分析、共分散構造分析など)に共通する計量モデルを用いた分析法を基本的に理解し、それらのうちのいくつかについては、コンピュータを用いて実際に使用することのできる能力を習得する科目。(90分×15週)

【J科目:質的調査法に関する演習(実習)科目】

新聞・雑誌記事、資料文書、映像、放送、音楽などの質的データの分析法(内容分析等)を習得するとともに、さまざまな質的調査法(聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、フィールドワーク、インタビュー、ライフヒストリー分析、会話分析など)に関する基本的理解を踏まえながら、そのあるものについての実践的な能力を習得する科目。(90分×15週)